

小中高生起業家精神育成事業の成果レポート

1 これまでの経緯

愛知県は、2018年10月に「Aichi-Startup 戦略」を策定し、この戦略に基づき、継続的なイノベーション創出の土壌を形成していくためには、新たな価値を創造する人材を若年層の段階から発掘・育成していくことが重要であると考えています。

小中高生起業家精神育成事業は、小中高生を対象とした起業家精神育成プログラムの実施を通して、早期に起業について知ることにより、将来の職業選択の幅を広げ、起業を志す人材の裾野を拡大することを目的として、2022年4月に開始しました。

小中学生を対象に起業をより身近に感じられる体験プログラムを実施したり、高校生や高専生等が身近な課題を整理し、解決するためのビジネスアイデアを考え、起業への関心を促すプログラムを実施したりするなど、各年代に応じたプログラムを県内各地で実施し、年代の切れ目なくイノベーションの創出を担う人材を育成していきます。

2 事業概要

① 【小中学生向け起業家育成プログラムの開催】

県内5会場を設け、小中学生が起業をより身近に感じられる体験プログラムを実施。暮らしに役立つロボットをテーマに、自己に身近な課題を発見・解決する中で得られる気づきを体験する。

その他、中学生は起業家による講演、起業するための事業計画の作成や模擬販売、決算を実施。

<小学生向けプログラム>

日時：2022年8月20日（土）、2022年8月21日（日）（半日コース）

対象：県内在住・在学の小学5、6年生

会場（5会場）：一宮、津島、常滑、豊田、豊橋

内容：暮らしに役立つロボットって何だろう

事業アイデアを考える

ポスター制作、発表

<中学生向けプログラム>

日時：2022年7月27日（水）、28日（木）（2日間コース）

対象：県内在住・在学の中学1～3年生

会場（5会場）：一宮、津島、常滑、豊田、豊橋

内容：起業家講演

会社をつくろう

暮らしに役立つロボットって何だろう

市場調査・事業アイデアを考える

事業計画を作って投資家へプレゼンテーション

模擬販売・決算



小学生及び中学生向けプログラムの様子

② 【高校生・高専生向け起業家育成プログラム（基礎編）の開催】

身近な課題を整理し、解決するためのビジネスアイデアを考え、起業への関心を促すプログラムを開催。

起業家講演のほか、投資家へのピッチ（プレゼンテーション）を想定して、資料作成、発表を実施。

日時：2022年8月4日（木）～6日（土）（3日間コース）

対象：県内在住・在学の高校1～3年生（高専生・高等専修学生を含む）

会場（3会場）：一宮、豊田、豊橋

内容：起業家講演

チーム作り

ビジネスアイデアの考え方、ブレインストーミング

事業アイデアを決める

ビジネスモデル検証

メンタリング

ピッチ

講評・評価

③ 【高校生・高専生向け起業家育成プログラム（応用編）の開催】

自分が実現したい事業アイデアを、起業家の話を聞いたりメンターとブラッシュアップしたりするなど、実現性の高いプランに仕上げ、最終日は審査員の前でピッチ（プレゼンテーション）を実施。

日時：2022年12月17日（土）、18日（日）、27日（火）（3日間コース）

対象：県内在住・在学の高校1～3年生（高専生・高等専修学生を含む）

会場：ア 12月17日（土）、18日（日）CODE BASE NAGOYA

イ 12月27日（火）名古屋大学 Idea Stoa

内容：起業家講演

事業アイデア発表

チーム作り

仮説検証

ソリューション検討

ビジネスモデル

メンタリング

ピッチ

講評・評価・ネットワーキング



高校生・高専生向けプログラム（基礎・応用編）の様子

3 これまでの実績等

参加者数

項目	2022年度
①小学生向けプログラム	135名
②中学生向けプログラム	60名
③高校生・高専生向けプログラム（基礎編）	32名
④高校生・高専生向けプログラム（応用編）	17名